

Summer 2017 / No.153

大阪大学の今を紹介する情報誌

阪大のNOW

濃いっ!阪大 —スゴい学術賞 編—

知っておきたい「○○のノーベル賞」



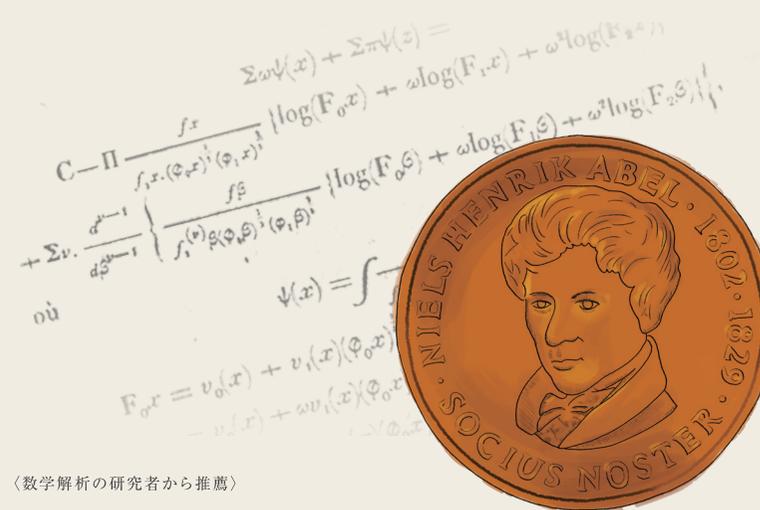
知っておきたい 「○○のノーベル賞」

天才はいる。
 世界に変革をもたらすなどの功績から、死してなお称えられる人々が数多くいる。
 その威光と称賛は学術賞へと姿を変え、次の世代の功績を未来へと照らし続けていく。
 数多の権威ある賞は、時に「○○のノーベル賞」と比喻される。
 では、どういった賞があるのか、研究者であっても「分野が異なると、他の分野のことはよく分からない」という声も聞く。
 研究型総合大学に身を置く私たちとしては「○○のノーベル賞」は知っておきたいところ。
 そこで、研究者の皆さんにご自身の専門分野における「○○のノーベル賞」をアンケート形式でお聞きしたところ、18名の方から16種類の学術賞の回答を得た。
 世の中に数多くある学術賞のほんの一握りしか紹介できないが、そこから見えてきたのは、今も息づく偉業をなした天才たちや、人類がなした功績に敬意を払う人々の姿だった。

※ ご紹介する学術賞や勲章の他にも、多くの権威ある賞があります。
 もちろん、そこには賞の優劣なんてものはありません。今回の特集では「こんな賞もあるのか」、「自分だったらこれを推すな」など自由に楽しんでもらえたら幸いです。

(広報課)

※ 表紙写真は、総合学術博物館 待兼山修学館に展示のノーベル賞メダルレプリカを撮影。



〈数学解析の研究者から推薦〉

The Abel Prize

天才の名を冠した数学界の最高峰。

www.abelprize.no/

アーベル賞は、数学分野の傑出した科学的成果を表彰するものとして、ノルウェーの19世紀の数学者ニールス・アーベル氏の生誕200年(2002年)を記念して、ノルウェー政府によって2001年に創設された。毎年、ノルウェー科学文学審議会によって任命された5人の数学者からなる委員会が受賞者を決定する。賞金額がノーベル賞に匹敵する高額(100万米ドル)などでも知られている。



(イメージです)

〈神経科学等の研究者から推薦〉

Albert Lasker Basic Medical Research Award

アメリカ医学界の国際賞。

www.laskerfoundation.org/awards/

アルバート・ラスカー基礎医学研究賞は、生体医学の新領域を開く基礎的な発見に贈られる国際的な医学分野の学術賞。アメリカ医学界の権威ある賞と言われており、同賞の受賞者にはノーベル医学・生理学賞の受賞者も多くいる。
 大阪大学では、花房秀三郎名誉教授が「RNA腫瘍ウイルスによる発癌機構およびウイルスゲノム内に存在する癌遺伝子の役割に関する研究」で1982年に受賞している。

〈流体力学の研究者から推薦〉

The Batchelor Prize

次は2020年。
傑出した流体力学研究に。

www.cambridge.org/core/journals/journal-of-fluid-mechanics/information/the-batchelor-prize

バチェラー賞は、4年に1度 International Congress of Theoretical and Applied Mechanics (ICTAM) の会合に合わせて、流体力学の顕著な研究成果を挙げた研究者1名に贈られる。スポンサーは、the Journal of Fluid Mechanics で、\$ 25,000が贈られる。2008年創設で、これまでに3名が受賞している。

〈知覚情報処理の研究者から推薦〉

Claude E. Shannon Award

情報理論分野の最高峰。



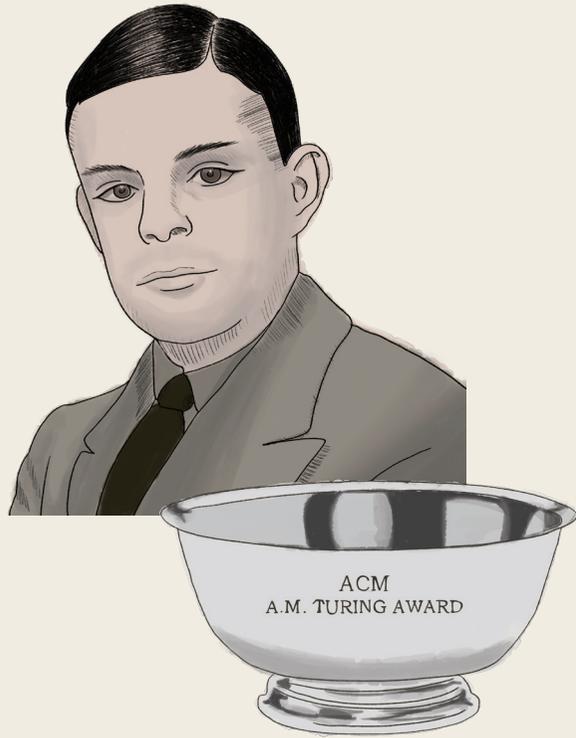
www.itsoc.org/honors/claude-e-shannon-award

ITの世界におけるクロード・E・シャノン賞は、情報理論の分野において多大な貢献をした研究者に贈られる荣誉ある賞で、受賞者は、情報理論のIEEE国際シンポジウムでシャノン・レクチャーとして受賞記念講演を行う。これまでに日本人の受賞者はいない。

賞の由来にもなっているクロード・E・シャノン氏(1916-2001)は、コンピュータに欠かせないデジタル回路・論理回路の概念や、「情報」を科学的に定義し数式や方程式で扱えるように情報理論を創り、さらには情報の最小単位であるビットを考え出すなど、現代の情報化社会の礎を築いた研究者として知られる。

1937年にMITの学生であったシャノン氏は、修士論文にて「継電器とスイッチ回路の記号論的解析」という論文を書き、論理演算がスイッチ回路で実行できることを証明した。

これによって、計算機械が現在のような高速の論理演算機として活躍することが可能になった。この論文は「今世紀で最も重要で、かつ最も有名な修士論文」と評されたという。



〈ソフトウェア等の研究者から推薦〉

The A. M. Turing Award

天才の名に恥じぬ、革新的な研究者に。

amturing.acm.org/

チューリング賞は、毎年、コンピュータ・サイエンスの分野で永らく影響を与えるであろう革新的な功績をのこした個人に対して贈られる。この分野の世界最高の荣誉とされており、2014年からはGoogle社からの支援で100万ドルの賞金が贈られることも話題となった。主催は、情報処理学会(ACM)であり、1966年の創設以降、日本人の受賞はまだない。

プチコラム: 悲運な天才

この賞に冠されているアラン・チューリング氏(1912-1954)は、イギリスの数学者で計算機科学の父と呼ばれている。その功績は計り知れず、23歳の時に発表したチューリング・マシンと後に呼ばれる理論は、コンピュータ・サイエンスの金字塔とされ、今日のコンピュータのモデルとなった。また、人工知能の研究や、さらに晩年には、まだ生命科学が今ほど進展していなかった戦後間もない時代に、生物の形態形成についての論文を記すなど、幅広い領域で革新的な成果を残した。

また、チューリング氏が有名なのは研究者としての側面だけではない。第二次世界大戦中には、暗号解読チームのトップとして暗号解読装置「bombe」を開発し、当時解読不可能と言われたドイツ軍の潜水艦Uボートが用いていた暗号エニグマの解読に成功し、イギリスを窮地から救ったことでも知られる。同性愛が犯罪とされた時代だったことや、冷戦時代の祖国からの冷遇もあり、最期は自殺を選んでしまう。2014年には映画に取り上げられるなど、悲運な天才として世界中で知られている。



〈放射線科学等の研究者から推薦〉

The Crafoord Prize

これぞノーベル賞級。
スウェーデン王立科学アカデミーが贈る国際賞。

www.crafoordprize.se

クラフォード賞は、ノーベル賞と同じくスウェーデン王立科学アカデミーから贈られる学術賞で、天文学、数学、生命科学、地球科学、関節炎の研究分野を対象に、毎年、そのうちの一分野に贈られる。これらの専門分野は、ノーベル賞が与えられる分野を補完するよう選ばれている。毎年、1月中旬に発表され、4月または5月のCrafoord Dayにおいて、スウェーデン国王から直々に授与される。

これまでに日本人の受賞は4名で、大阪大学では2009年に岸本忠三元総長、平野俊夫前総長、2017年に免疫学フロンティア研究センターの坂口志文栄誉教授が、関節炎の分野で受賞している。



〈量子ビーム科学等の研究者から推薦〉

James Watt International Medal

世界を変えたワットのように。

www.imeche.org/careers-education/scholarships-and-awards/prestige-awards/james-watt-intl-gold-medal

蒸気機関の第一人者として数多くの功績を残したジェームズ・ワット氏(1736-1819)の生誕200年を記念して1936年に英国のthe Institution of Mechanical Engineersが設けた賞で、隔年ごとに機械工学のあらゆる分野(科学や研究、発明、製造)で、世界的に認められた著名なエンジニアに贈られる。過去の受賞者には、米国の自動車メーカーFORD社の創始者ヘンリー・フォード氏(1939)や、日本人では、島秀雄氏(1969)、本田宗一郎氏(1991)などがある。

〈補綴・理工系歯学の研究者から推薦〉

The Judson C. Hickey Scientific Writing Award

補綴分野の研究と技術向上のために。

[www.thejpd.org/article/S0022-3913\(13\)00084-X/fulltext](http://www.thejpd.org/article/S0022-3913(13)00084-X/fulltext)

歯学の分野で、歯が欠けたり、なくなった場合にクラウンや入れ歯などの人工物で補う「補綴(ほてつ)歯科」の分野にも学術賞がある。Judson C. Hickey Scientific Writing Awardがそれで、The Journal of Prosthetic Dentistryが主催している。この賞は、1975年から1991年まで当該学術誌で編集委員を務めたHickey博士(1927-2005)の歯学分野での教育、研究、管理運営への貢献をたたえている。



〈教育社会学の研究者から推薦〉

L'ORDRE DES PALMES ACADEMIQUES

ナポレオン創設。教育者への勲章。

jp.ambafrance.org/article483

教育の功績について評価する勲章もある。フランス教育功労章(パルム・アカデミック)は1808年にナポレオンによって創設され、高等教育を含む教育全般に携わる人に与えられる勲章で、日本においては、フランス語教育やフランスの学術研究を積極的に日本へ紹介した人、または日仏文化交流に寄与した人が対象となる。等級はシュヴァリエ Chevalier、オフィシエ Officier、コマンドゥール Commandeur の3段階がある。駐日フランス大使と協議の結果、在京のフランス大使館文化部と科学技術部、西日本では大阪のフランス総領事館の3者のいずれかが、日本における推薦機関となり、審査は本国の国民教育・研究・技術省で行われる。

在日フランス大使館によると、ここ10年間に約110人の日本人が受章しているという。

〈補綴・理工系歯学の研究者から推薦〉

日本歯科理工学会「学術賞」

人を、育ててこそ。

www.jsdmd.jp/award/science.html

もう一つ、歯学を専門とされる先生から、日本歯科理工学会「学術賞」の回答があった。賞の趣旨として「本会の学術分野において顕著な功績を挙げ、若手研究者の育成に貢献している研究者を表彰する。」とあり、研究の功績に加えて、次代につなぐための若手研究者の育成への貢献を条件とされているところに特徴を感じる。

〈船舶海洋工学の研究者から推薦〉

Weinblum Memorial Lectureship

一年に世界でただ一人。
船舶流体力学分野のノーベル賞。

www.mathunion.org/general/prizes/fields/details/

ドイツの船舶海洋工学会(STG)、アメリカの船舶海洋工学会(SNAME)並びにJournal of Ship Researchの選考委員会が、船舶流体力学に関する世界の研究者の中から毎年1人だけを指名して、ドイツ及びアメリカで招待講演を行うWeinblum Memorial Lectureship。この賞は1978年から始められたもので、大阪大学では工学研究科の柏木 正教授が2011-2012年のLecturer に選ばれている(34人目。日本人としては6人目)。



Wolf Foundation · קרן וולף

〈制御幾何学的数論の研究者から推薦〉

Wolf Prize

イスラエル発 科学と芸術の国際賞。

www.wolffund.org.il/index.php?language=eng

1978年から続くイスラエルのウルフ財団が主催する国際賞で、優れた業績をあげた科学者と芸術家に贈られる。毎年、5つの科学分野(農業、化学、数学、医学、物理学)と、芸術分野では、建築、音楽、絵画、彫刻の分野に輪番で贈られる。

ウルフ財団によると、これまでに23か国311名の科学者及び芸術家が受賞しており、そのうち、日本人は10名、大阪大学では教授として在籍していた早石修京都大学名誉教授が医学賞を、佐藤幹夫京都大学名誉教授が数学賞を受賞している。

プチコラム：小さな異文化体験。

ウルフ賞を調べるため、ウルフ財団の公式HPに行くとき英語表示であっても、ヘブライ語にあわせて文字が右詰めの仕様であることに驚いた。海外の留学生が日本語を見たときの感覚も、これに近いものがあるのだろうか。

さらなる活躍を見込み、
すでに顕著な功績のある若手研究者を顕彰する学術賞もある。



〈解析学基礎の研究者から推薦〉

The Fields Medal

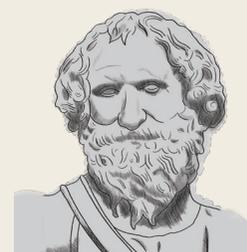
4年に1度。数学界の若き才脳に捧ぐ。

www.mathunion.org/general/prizes/fields/details/

フィールズ賞は、カナダ数学者J. C. フィールズ氏(1863-1932)の提唱後、1936年に創設された賞で、4年に一度開催される国際数学会議(ICM)にあわせて、傑出した功績とその将来にも活躍が見込まれる40歳未満の数学者に贈られる。年齢のほか、「2名以上4名以下」という条件もあり、日本人では過去に3名(小平邦彦氏(1954年)、広中平祐氏(1970年)、森重文氏(1990年))が受賞している。ICMで同時に授与される賞としては、他にネヴァンリンナ賞、ガウス賞、チャーン賞等がある。

プチコラム：アルキメデス

フィールズ賞のメダルには、古代ギリシアの数学者、天文学者として有名なアルキメデスの肖像が描かれている。



〈経済政策の研究者から推薦〉

アメリカなら。

John Bates Clark Medal

後にノーベル経済学賞を受賞する者も。

www.aeaweb.org/about-aea/honors-awards/bates-clark

優れた若手研究者を奨励しようという動きは、日本に限らず世界各国の学会組織でもあり、経済学分野のジョン・ベイツ・クラーク賞はその一つ。アメリカ経済学会による賞で、経済学の知見に重要な貢献を及ぼしたと考えられる40歳以下のアメリカ人経済学者に贈られる。受賞者は後にノーベル経済学賞を受賞していることが多い。



〈生物系薬学の研究者から推薦〉

日本学術振興会 育志賞

大学院生対象。次世代の研究者に。

www.jsps.go.jp/j-ikushi-prize/gaiyo.html

これから研究者人生を歩もうとする大学院生を奨励する学術賞があり、天皇陛下の御意思を汲んで創設された日本学術振興会育志賞もその一つ。その趣旨には「社会的に厳しい経済環境の中で、勉学や研究に励んでいる若手研究者を支援・奨励するための事業の資として、平成21年に陛下から御下賜金を賜りました。このような陛下のお気持ちを受けて、本会では、将来、我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な大学院博士課程学生を顕彰することで、その勉学及び研究意欲を高め、若手研究者の養成を図ることを目的として、平成22年度に『日本学術振興会育志賞』を創設しました」とある。人文学、社会科学及び自然科学にわたる全分野を対象としており、大阪大学からは平成28年度までに9名が受賞している。

〈経済政策の研究者から推薦〉

ヨーロッパなら。

Yrjö Jahnsson Award

ヨーロッパでの名誉ある経済学賞。

www.eeassoc.org/index.php?page=25

欧州経済学会によるユルヨ・ヨハンソン賞も高く評価される賞の一つ。その対象はヨーロッパにおいて経済学に重要な理論及び応用研究で貢献した45歳以下の欧州の経済学者となっている。賞金は、ユルヨ・ヨハンソン財団から€20,000が贈られる。

これは、 阪大人のおいしい歴史。

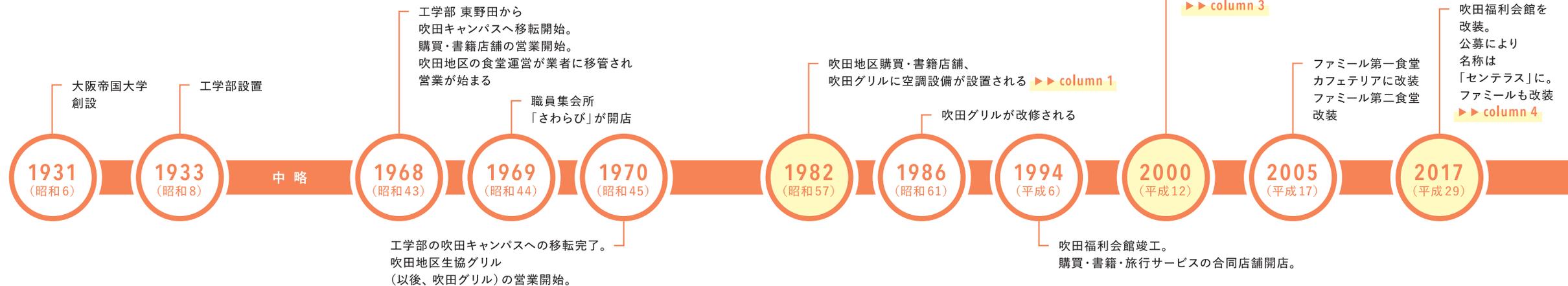
「腹が減っては…」という諺もあるように、良い仕事をするために「食」はとても重要。2017年7月時点で、大阪大学のキャンパスには29もの食に関する福利厚生施設(売店等を含む)があり、実に4,200席を超える食堂・カフェがおおよそ33,000人の阪大人の胃袋を支えている。

そこで、今回の阪大AtoZでは、私たちがいつも応援してくれている「福利厚生施設・食堂」に焦点を当て、その変遷を追ってみた。第一弾は、「センテラス」という名称で福利厚生施設がリニューアルした工学研究科エリア。当時を知る方々からは、今では食べられない大阪ならではの学食メニューなど思い出メシも。

さあ、阪大人のおいしい歴史をご賞味あれ。

(文責:広報課 監修:大阪大学生協)

※阪大AtoZとは、大阪大学のあらゆる物事を様々な角度から紹介する企画です。



column 1 大変!?でも、どこか牧歌的な80年代

当時の窮状を記した報告書がある。そこには、生協食堂の1日あたりの回転率が記されているのだが、驚くべきことに、主に昼の営業だけで8.3回転という数字だったそう。混雑ぶりが伝わってくる。しかし、その窮状と反してレポートにはどこか牧歌的な時代の雰囲気漂っている。

〈報告書抜粋〉

(2) 現存施設の利用実態

豊中地区の生協食堂でも、ピーク時は長蛇の列と大変な混雑です。吹田地区生協グリルは、筆や口では表現できない程のひどい状態です。1つの席が次から次へと切れ目なく利用されているので、横に立って席が空くのを待っている仲間の顔を見ると、落ち着いて食べるこ

もできません。この第1団地では、広い大塚食堂より、狭い生協グリルの利用率が著しく高いことも、混雑をひどくする大きな要因となっています。購買部では、豊中店の3倍以上の混雑度です。商品を前にして、あれこれ比較検討して買物ができる状態ではありません。書籍部では、昼休みにちょっと立ち読みをと思っても、本を開けば隣りに人がぶつかり、ピーク時には目的のコーナーにたどりつくことさえ一苦労な有様です。

出展:大阪大学生協同組合理事代行人
「吹田地区第1団地における福利厚生施設の現状と改善のために」から抜粋(1981年)



column 2 「あ、鳥だ。鳥が飛んでる」

当時、工学研究科付近で過ごした何名かの方に話を聞くと微笑ましい思い出が返ってきた。

まず、工学部の吹田キャンパス移転前から2000年まであった大塚食堂は、スタジオジブリの作品に出てくるラピュタのような薄暗い建物だったという声も。「店内をハトが飛んでいた」とか、「から揚げが赤く厨房のおばちゃんに揚げ直しをお願いした」等返答に困るワイルドな思い出も。そんな大塚食堂が突然閉店した後、生協が運営するファミールができて様変わりしたという。

column 3-1 伝説のテンマ

ファミールでは、学生からの要望を反映した、挑戦的なメニューが提供されてきた。

その代表は「びっくり!天津麻婆丼」だろう。阪大名物「天津麻婆丼」(通称「テンマ」)の通常サイズの5倍程度の特大

column 3-3 大阪ならではの力技メニュー!

次に多かったのが「明石うどん」。豊中キャンパスでも1~2年前まで提供されていた大阪ならではの炭水化物in炭水化物の名物メニュー。その名の通り、うどんの上に明石焼が乗ったものなのだが、うどんの出汁がしみ込み、絶妙な味わいを生むのだそう。時間とともにとろけ、最後は掻揚げの天ぷらうどんのようなものも美味しかったのだとか。

column 3-4 伝説は継承される?!カラアゲ+梅ソース

当時の食堂の話でもう一つ、「アベティ」のから揚げ定食が絶品で、梅ソースの味が忘れられないという声も。現在その店舗は無く真偽のほどは不明だが、その伝説の定食は本部前の「ひだまり」に引き継がれているという。



ボリュームで、注文する人、注文される人、周りで見る人全員が「びっくり」したという伝説のメニュー。男子学生が多い工学部エリアならではのメニューだろう。



column 3-2 あの油そばをもう一度。

他にも伝説のメニューとして挙がったのは「油そば」。タレとラー油で味付けられ、チャーシューの上にネギがバラバラとかかったシンプルな料理で、ここに白ごはんをドボンッと浸して食べるのが美味しかったという。「少しジャンキーなあの油そばにもう一度会いたい」という声も。

大塚食堂が閉店し、ファミールの営業が開始 ▶▶ column 2
吹田グリルが「アベティ」にリニューアル ▶▶ column 3

column 4 生まれ変わった吹田福利会館「センテラス」

一階には、明るく活気ある第一ホールと落ち着いた雰囲気のある第二ホールからなる548席の巨大カフェテリア食堂「ファミール」、そして天津麻婆丼が食べられる「和麵・丼ぶり」専門店の「吹田DonDon」がある。新たに焼肉丼などのテイクアウトコーナーも併設。

二階は、「来店された組合員が、1STOPでご要望を解決できる」をテーマに、生協が扱う食品以外のサービス(書籍・旅行サービス・公費受付カウンター・マイルーム(お部屋探し)・カフェ・総務部事務所)がワンフロアに集まった複合店になっている。他にもセンテラスの南エリアのショップでは、食品の他、文房具、製図用品、日用品、阪大オリジナルグッズが販売されている。



役員室だより

from: マイハンダイ

阪大の“いま”に今すぐアクセス!
>> <https://my.osaka-u.ac.jp/>
マイハンダイに掲載中の役員室だよりから
タイトルのみを掲載しています。



Open Education

教育室

ファカルティ・ディベロップメントの充実 – 新任教員研修の必須化 –
今秋以降に新規採用される講師・助教等を対象に、採用後3年間で30時間の研修受講を必須化します。

明日からの授業がきらめきます!

Open Research

研究推進室

準備はできていますか?
平成30年度科研費公募が始まります

本学では科研費の応募に向けて、様々な支援を行っています。スケジュールや支援内容を確認し、万全の態勢で挑みましょう!

目指せ!採択率アップ!

不正使用防止計画推進室

「公的研究費の取扱いに関する理解度チェック」
リニューアルしました!

公的研究費を正しく理解し使用するためのルールや責任についてクイズ形式で学習できます。対象者の方は、必ず受講し理解を深めましょう!

「私は大丈夫」と思っていないか?

Open Innovation

産学連携室

知的財産教育協会表彰(団体賞)を受賞しました

国立大学法人で初の知的財産教育協会表彰(団体賞)を受賞。本学の人財育成を評価。

学術相談制度を制定しました

企業等との連携の新たな仕組み。学術相談制度をご活用ください。

大阪大学産学共創本部キックオフシンポジウムを開催しました

産学官民の皆さまに向けて、産学共創本部の“これから”や共創テーマ等をお披露目しました。

Open Community

グローバル連携室

海外渡航の際は登録を!

7月より海外渡航届システムの運用を開始しました

テロが頻発する昨今、海外で活動する学生への危機管理体制の強化を図るために、「海外渡航届システム」の運用を開始しました。

Open Governance

総合計画室

第2期中期目標期間の評価結果が公開。本学の強み・弱みとは。

本学は、「研究」の区分で最高評価を受けた一方、「業務運営」の区分では、コンプライアンス強化の重要性を再認識する結果となりました。

財務室

チケット手配システムの利用促進について

旅費支給業務のチケット手配システム利用について、経費削減及び不正防止等のため教職員の皆様のご理解とご協力をお願いします!

立て替え不要で利便性向上!

男女協働推進・社会学連携室

理系進学を目指す女子中高生の笑顔はじけるイベントを開催しました
『のぞいてみよう!理系女子の「いま」-SciTech Girls in Handai-』

理系の魅力、将来のキャリアを知ること、女子中高生の理系進路選択を応援したいと本学が初めて開催したイベントに、西日本各地より女子中高生と保護者や引率教員が約250名参加しました。

人事労務室

大阪大学名誉教授の称号を新たに付与しました

平成29年7月1日付けで大学院生命機能研究科 吉森 保 教授に対して、大阪大学名誉教授の称号を付与しました。

「大阪大学女性リーダー育成プログラム」キックオフ記念講演会を開催しました

女性上位職拡大の環境醸成等を目的に実施する「大阪大学女性リーダー育成プログラム」のキックオフ記念講演会を開催しました。

各タイトルの記事の全容はマイハンダイをご覧ください。

受賞・表彰

平成29年春の褒章・叙勲	受章者
瑞宝中綬章	岡田 宏 名誉教授(歯学部) 井上 豊 名誉教授(工学部) 裏 克己 名誉教授(工学部) 大川 善邦 名誉教授(工学部) 柴田 俊夫 名誉教授(工学部) 増原 宏 名誉教授(工学部)
瑞宝双光章	植西 亮 元大阪大学工学部事務部長 山内 貴子郎 元大阪外国語大学学生部次長
瑞宝単光章	末久 悦次 元大阪大学医学部附属病院臨床(衛生)検査技師長 森岡 忠子 元大阪大学施設部企画課電話交換室長

受賞等	受賞者	所属
知的財産教育協会表彰(団体賞)	大阪大学	
平成29年兵庫県功労者表彰 防災功労	渥美 公秀 教授	人間科学研究科
日本認知心理学会第14回大会 優秀発表賞(発表力評価部門)	入野 宏 教授	人間科学研究科
第4回三笠宮オリエンタール学術賞	加賀谷 寛 名誉教授	大阪外国語大学
日本腎臓学会 上田賞	折田 義正 名誉教授	医学部
アメリカ形成外科学会名誉会員	細川 互 教授	医学系研究科
Biomagnetic Sendai 2017 Young Investigator Award	橋本 洋章 さん	医学系研究科(D)
De La Salle大学(フィリピン)から名誉学位を授受	笠井 秀明 名誉教授	工学研究科
2017年日本建築学会大賞	檜崎 正也 名誉教授	工学部
平成28年度日本材料学会学術貢献賞	鎌田 敏郎 教授	工学研究科
米国真空学会(AVS)プラズマ科学技術部門「プラズマ賞」	浜口 智志 教授	工学研究科
2017年日本建築学会賞(論文)	山中 俊夫 教授	工学研究科
第55回空気調和・衛生工学会賞(技術賞建築設備部門)	山中 俊夫 教授 甲谷 寿史 教授 桃井 良尚 元助教 相良 和伸 名誉教授	工学研究科 工学研究科 工学研究科 工学研究科
フォン・エンゲル・フランクリン賞	ツァルネツキ ウヴェ ラインハルト 特任教授(常勤)	工学研究科
平成28年度日本水環境学会論文奨励賞(廣瀬賞)	井上 大介 准教授	工学研究科
平成29年度文部科学大臣表彰 若手科学者賞	平野 康次 准教授	工学研究科
日本接着学会平成29年度(第39回)奨励賞	大久保 雄司 助教	工学研究科
日本船舶海洋工学会奨励賞(乾賞)	辰巳 晃 助教	工学研究科
日本材料学会主催第2回マルチスケール材料力学シンポジウム「優秀講演賞」	永島 壮 助教	工学研究科
HPLC 2017 PRAGUE BEST POSTER AWARD	岡本 行広 准教授	基礎工学研究科
ターボ機械協会論文賞	堀口 祐憲 准教授	基礎工学研究科
Laser Display and Lighting Conference Student Award	林 勇太 さん	基礎工学研究科(D)
レーザー学会第37回年次大会 優秀論文発表賞	松川 悠輝 さん	基礎工学研究科(D)
日本機械学会関西学生会 平成28年度学生員卒業研究発表講演会 Best Presentation Award	山崎 嘉己 さん	基礎工学部4年
Society for the Study of Reproduction SSR Research Award	伊川 正人 教授	微生物病研究所
第11回研究所ネットワーク国際シンポジウム Early Carrier Investigator Award	木戸屋 浩康 助教	微生物病研究所
平成29年度科学技術分野 文部科学大臣表彰 若手科学者賞	佐藤 莊 助教	微生物病研究所
第4回感染症若手フォーラム ベストプレゼンテーション賞	新澤 直明 助教	微生物病研究所
公益財団法人長瀬科学技術振興財団 長瀬研究振興賞	岡島 俊英 准教授	産業科学研究所

公益財団法人 本多記念会 第38回 本多記念研究奨励賞MES2016 ベストペーパー賞	多根 正和 准教授	産業科学研究所
平成28年度 公益信託循環器学研究振興基金 褒賞(内田賞)	中西 香織 助教	キャンパスライフ健康支援センター
日本医師会医学研究奨励賞	鈴木 一博 教授	免疫学フロンティア研究センター
アステラス病態代謝研究会 最優秀理事長賞・優秀発表賞	鈴木 一博 教授	免疫学フロンティア研究センター
第45回日本免疫学会学術集会 Best Presentation Award 2016	平安 恒幸 特任助教(常勤)	免疫学フロンティア研究センター

※受賞や表彰を受けられた場合は、部局広報担当係を通じて広報課までお知らせください。

人事

新部局長

発令日	氏名	職名
平成29年7月1日	狩野 裕	数理・データ科学教育研究センター長

新教授

発令日	氏名	所属	前職
平成29年4月16日	桐原 聡秀	接合科学研究所講座外	本学准教授
	塚本 雅裕	接合科学研究所講座外	本学准教授
平成29年5月1日	恩地 一樹	経済学研究科経済学専攻理論分析講座	本学准教授
	谷内田 真一	医学系研究科医学専攻ゲノム生物学講座	国立がん研究センター
	清野 健	基礎工学研究科機能創成専攻生物工学講座	本学准教授
	大久保 敬	高等共創研究院講座外	株式会社dotAqua
平成29年6月1日	中田 慎一郎	高等共創研究院講座外	本学准教授
	服部 聡	医学系研究科医学専攻情報統合医学講座	久留米大学
平成29年7月1日	鵜澤 成一	歯学研究科口腔科学専攻顎口腔病因病態制御学講座	東京医科歯科大学
	松村 真宏	経済学研究科経営学系専攻ビジネス講座	本学准教授

訃報

工学部	橋本 初次郎 名誉教授	平成29年4月15日 逝去
人間科学部	麻生 誠 名誉教授	平成29年4月24日 逝去
医学部	阿部 裕 名誉教授	平成29年4月27日 逝去
国際公共政策研究科	林 敏彦 名誉教授	平成29年4月28日 逝去
薬学研究科	宇野 公之 教授	平成29年5月31日 逝去
蛋白質研究所	中川 八郎 名誉教授	平成29年6月13日 逝去
工学研究科	石井 克典 助教	平成29年6月23日 逝去
理学部	森田 正人 名誉教授	平成29年7月11日 逝去

第12回ホームカミングデイを開催

4月30日



平成29年度いちょう祭開催

4月30日、5月1日



理系進学を考えているあなたへのぞいてみよう!理系女子の「いま」
— SciTech Girls in Handai —を開催

6月3日



洪庵忌
～適塾のタベ～を
開催

6月5日



司馬遼太郎
記念学術講演会
「デジタル世代におくる
司馬遼太郎」を開催

6月17日



「大阪大学女性リーダー
育成プログラム」
キックオフ記念講演会を
開催

6月27日



産学共創本部
キックオフシンポジウムを
開催

7月4日



詳細は、本学公式ウェブサイト(www.osaka-u.ac.jp)「ニュース&トピックス」等をご覧ください。

チャレンジ “?” を イノベーション “💡” に。

どうも、ワニ博士です。
最近、2ついい言葉を教えてもらいました。

1つ目は“Challenge”。
英語で「課題」を表現する時にも使うんですって。
「深刻さが漂う“Problem”よりも、
課題に立ち向かうニュアンスが出せる」からだろう。

環境、エネルギー、貧困、宗教、経済格差、少子・高齢化。
世の中、困難な課題ばかりです。ムムム・・・。

そう唸っている時に知ったのが、2つ目の「共創」
大阪大学が考える、次世代の大学像に必須のキーワード。
社会と大学との共同作業だと捉えると分かりやすいです。
根源的な課題を共に見出し、共に考え、
新たな価値を生み出していくこと
これって、「イノベーション」そのものです。

国立大学でありながら、
地域に支えられて誕生した大阪大学では、
「未知なる課題を見出し、社会に貢献する」
という取組が自然に行われてきました。
「共創」が、これを加速していくんだと思います。

大阪大学のモットーは「地域に生き 世界に伸びる」
きっかけは、いつも思わぬ所にあるもの。
ほら、「?’は、いろんな方向から見ると「💡」になるでしょ。

大阪大学 ワニ博士



大阪大学の医学教育・研究・診療を支援する

一般財団法人 **恵濟団**

大阪大学医学部附属病院内の売店(ローソン)、
薬店、食堂、サブウェイを運営しています。

阪 印
信頼と実績

昭和44年創業以来、「お客様の気持ちを第一に」を社是として歩んでまいりました。
培ってきた信頼と実績が私たちの誇りです。

〒553-0004 大阪市福島区玉川113-6-4 **阪東印刷紙器工業所**
TEL:06-6443-0936 FAX:06-6443-1684 E-mail:bandopv@skyblue.ocn.ne.jp

9/23 (土・祝) 15:00~
(14:30受付開始予定)

名鉄ニューグランドホテル 7階 (JR名古屋駅太閤通口から徒歩1分)

「大阪大学の集い in 名古屋」を9月23日(土・祝)に初開催!!

大阪大学・大阪外国語大学の卒業生や現職教職員など「大阪大学ファミリー」が一堂に集うイベントを9月23日(土・祝)、名古屋市で開きます。

大阪、東京以外では昨年の岡山に続いての開催です。

大阪大学の「これから」を共有し、懐かしい再会や新しい交流を通して、全国に広がる阪大ネットワークをさらに力強いものにできればと願っています。

名古屋駅から徒歩1分の便利な会場で、中部・東海エリアはもとより、各地からのご参加をお待ちしています。

[プログラム]

15:00~16:10 セレモニー・講演会

あいさつ・近況報告:

大阪大学 西尾章治郎総長

大阪大学同窓会連合会あいさつ:

大阪大学同窓会連合会 熊谷信昭会長

卒業生による講演:

「女性と日本酒の美味しい関係」

森喜酒造場専務 森喜るみ子さん (1983年薬学部卒業)



▲ 交流会の様子(東京)

予告

「大阪大学の集い in 東京」
12月2日(土)に開催!

[日時] 12月2日(土)
15:00~(14:30受付開始予定)

[会場] 学士会館(東京・神田)

16:20~18:00 交流会

※ 参加費4,000円(当日申し受けます)。学生以下は割引あり

※ 未成年者の飲酒はできません

[問い合わせ先]

大阪大学 渉外本部卒業生係 Tel:06-6879-7196 Email:alumni-info@ml.office.osaka-u.ac.jp

9/25 (月)

吹田キャンパス
コンベンションセンター 3階 MOホール

平成29年度 秋季卒業式・ 大学院学位記授与式

大阪大学秋季卒業式・大学院学位記授与式
Osaka University Autumn Graduation Ceremony



詳細は、本学公式ウェブページ(www.osaka-u.ac.jp)「イベント情報」等をご覧ください。

阪大NOW Summer 2017 / No.153 2017年夏発行

デザイン: 大阪大学クリエイティブユニット

編集・発行: 大阪大学企画部広報課

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1 TEL:06(6879)7017 FAX:06(6879)7156

「阪大NOW」読者アンケートへのご協力をお願いいたします。[マイハンドアイ・アンケート回答ページ] osku.jp/b0542

次号(No.154)は2017年秋頃に発行予定です。

バックナンバーは、本学公式ウェブページ(www.osaka-u.ac.jp)からご覧いただけます。

大阪大学Facebookページ(www.facebook.com/OsakaUniversity)も随時更新中です。



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY